

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 自治会連合会、恩田地域づくり
協議会、自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	308,193 円		助成金充当額	300,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	228人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・避難所運営マニュアルの作成【警戒レベル3以上】/総務班会議年4回(延べ81人) ・地区社会教育研修会/12/4地域みんなで考える防災(50人)(HP閲覧数333人) ・防災訓練(97人)/行事の後にHPに12/4講演会をYouTubeを利用してアップし、コロナ禍で参加できなかった多くの住民に周知できた。			
事業目標	・災害時に備えた備品の使い方確認			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	防災訓練参加人数	50人	228人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・全地区民を対象に行う訓練を行う。「自らの安全は自ら守る」という自助と「自分の地域は自分たちで守る」という共助を住民に周知する。			
事業効果	・皆で協力しようという気運が高まった。 ・避難所運営マニュアルの作成につながった。 ・災害に強い地域の絆づくりの推進ができた。 ・避難訓練時の救急救命やロープ結索体験、地震疑似体験、煙内体験、給水車体験、防災講話等で非常時対策への理解を深めた。			
今後の課題等	各自治会の連絡網の整備。 ・防災訓練の参加者を増やし、地域住民一人一人が防災・減災に対する意識向上を図る ・災害時では、「自助・共助・公助」を実現できるよう、体制作りをする。 ・住民への行事案内である班回覧の機能を確認する。(コロナ禍で恩田だより掲載を見送った)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

体育振興会、老連、歩こう会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	337,468 円		助成金充当額	300,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	438人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・ソフトボール、ソフトバレー大会(中止)、カローリング大会(中止)、ニュースポーツ体験講習会(中止)・体育振興会総会4/13(48人)・体育振興会役員会議3回(延べ49人)みんなで元気にラジオ体操(6人)・地区運動会(中止)・空港倉庫片付け5/15(8人)・男の料理教室(中止)・老人クラブ連合会総会4/29(25人)市老連スポーツ大会12/6(20人)・研修旅行11/30(24人)・文化祭バザー11/19(5人)・演芸大会11/25(10人)・地区老連研修会(31人)・ペタンク大会10/29(20人)・登下校見守り・老連役員会(延べ60人)歩こう会役員会2回(延べ16人)下見2回(延べ16人)			
事業目標	・校区民に身近に運動を取り入れてもらう。・毎月第3水曜日に保健師による健康相談 4月～翌3月11回(100人)			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	地区人口12432人の1割が参加	1250人	438人	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・老人クラブは、昨年購入したペタンクで大会を開催・歩こう会は、コロナの影響で下見のみ・体育振興会の各競技大会はコロナ禍の為全て中止			
事業効果	・老人の健康づくり・独居老人の交流の場の創出・出会いが期待できる・保健師による相談可能日に健康チェックなど地区の備品を活かす。・区内住民の体力向上と相互の親睦をはかる			
今後の課題等	・はつらつポイントとの連携を考える。・参加したくなるような体振にするため、若い人の入会や意見を取入れ魅力ある組織にしていく必要がある。・高齢者の歩行能力の衰退は本人、家族の幸せを維持する障害となる。住民に事業を丁寧に説明して参加率を高めたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体
まちづくりサークル、子ども委員会、恩田小学校運営協議会、常盤中学校運営協議会、恩田地域づくり

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	82,743 円		助成金充当額	82,743 円
事業対象者	全校区民		参加人数	926人
事業内容	・まちづくりサークル年7回(延べ145人) 恩田ふれあいセンター花壇整備(2回)/恩田小学校清掃作業(2回)/出前講座ポピュラーダンス・ラジオ体操・キャッシュレス講座(3回)・常盤中試験前学習(延べ276人・5回)3学期は中止・75歳以上独居の方へ年賀状作成(恩田小5年生含む150人)あて名書き(民協)・恩田小昼休み学習(延べ240人・8回)・昼休み学校で遊ぼう!(中止)・昼休みコンサート(中止)・パウロさんと踊ろう(中止)・運動会バトン部演技(中止)・夏祭り吹奏楽演奏(中止)・バトン部演技(中止)・文化祭バトン部演技(中止)・文化祭生徒会発表(中止)夏祭りサッカー部準備片づけ手伝い(中止)・冬まつり野球部各コーナー手伝い(中止)・ジュニアリーダー年間(中止)高校生ボランティア夏・冬まつり(中止)・門松づくり水泳部手伝い(20人)本土手整備参加中高校生含む(80人)子ども人権教育学習参加(15人)			
事業目標	学校に出向く、学校から校区の行事にスタッフとして参加してもらうなど交流			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	校区民と小学校児童、中学校生徒数3割が参加する	4,200人	926人	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・常盤公園ウォーキングは、たいへん好評。これからも学び合い・親睦・貢献の3つの目的を大切に活動したい。(まちづくりサークル)・心のこもった年賀状を書くことができた。(子ども委員会)・新型コロナ対策で2回のテスト期間中5回の実施回数にとどまったが、生徒の積極的な参加により、参加人数については計画通り終えることができた。(常盤中)			
事業効果	・会員の方は高齢者が多く家にいるより外に出て活動することで元気をもらう。・ボランティアで地域の中に入りやがいをを感じる。(まちづくりサークル)・お年寄りへの思いやりの心を育むことができた。(子ども委員会)・日頃各自で行うテスト前学習を「学び合い」のスタイルにし、生徒同士で尋ね合ったり、高専生に尋ねることで学習能率が上がり学習効果も高まった。(常盤中)/			
今後の課題等	・現在の会員は高齢者が多くもっと若い人も入会していただくよう努力する。(まちづくりサークル)・子ども教室で年賀状を書いてくれる子どもを増やす。・塾に行けない生徒や一人での学習が難しい生徒にとっては、特に有効な事業と考える。(常盤中)・希望した児童が自主的に参加し、地域の方に学習を支援していただく。学習内容が身に着くだけでなく、地域の方に見守られ、心の安定にもつながっている。(恩田小)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 恩田地域づくり協議会、社会教育推進委員協議会

事業名	4	地域づくり行事運営事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	245,153 円		助成金充当額	200,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	1551人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 各行事参加者・スタッフ延べ人数(100人)・地区体育事業ウォーキングチャレンジ(86人)・空港グランド清掃常盤中学生含む(200人)・地区文化事業ウォークラリー(120人)、文化祭来館(500人)・新年互礼会(中止)・冬まつり(460人)・みんなで元気にラジオ体操(85人)			
事業目標	夏祭り、文化祭、新年互礼会、冬まつり			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	地区人口の1%が参加する	100人	1551人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ウォーキングチャレンジ; 宇部市のはつらつ健幸ポイント事業と合わせて参加者を募り、コメント欄に保健師さんから一言記入してもらうなど工夫した。作品展示は、展示場所が広がった。子どもからも励みになる。嬉しいとの声を教諭を通じて伺った。			
事業効果	ふるさと恩田への愛着心の増加、今後も各行事で小中学校との連携を大切にして運営し、子どもからシニア層までが楽しめる行事にしていきたい。社会教育推進員会議で、恩田小学校長よりご提案のあった小学生の作品展示は山口銀行則貞支店、則貞郵便局、センターの協力を得て多くの方に見てもらい喜んでいただいた。文化祭での展示に応募の住民の方の作品も併せて対応できた。			
今後の課題等	・コロナ禍でできる行事は限られたが、参加した方からの感想には冬まつりには神事とふれあい鍋が楽しみなど飲食の再開を楽しみにする声もあった。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

老連、おんだ翼、子ども委員会、恩田地域づくり協議会

事業名	5	三世代交流事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	168,236 円		助成金充当額	150,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	210人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・門松作り(60人) 中学生参加・常盤公園イルミネーション作品作成3回(延べ100人) ・おんだ翼定例会年5回(延べ25人) ウィンドウアート2/26(25人)			
事業目標	・センターを中心に1年の無事を祈りながら門松を製作し絆を深める・三世代交流行事により地域への愛着と子どもは地域で育てると意識の醸造を図る。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	三世代交流行事創出・参加人数	5回 100人	5回・210人	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・各団体の既存の行事等を団体間で組み合わせることにより新たな取り組みを創出できた。			
今後の課題等	・皆で協力して取り組むので、新しい人間関係が構築された。・若い力を借りて、頼もしかった。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 交通安全協会恩田分会、見守り
ネットワーク、見守り隊

事業名	6	交通安全事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	49,176 円		助成金充当額	49,176 円
事業対象者	全地区民		参加人数	4713人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・交通安全教室2回(中止)新入学児童交通安全教室(中止)・春・夏・秋・年末交通安全週間活動(400人)秋の交通安全週間啓発活動国道(6人)・登校時見守り活動(延べ4200人)・啓発旗の設置/収納管理・会議年10回(延べ40人)・自転車教室(中止)・夏休み前交通指導(社会福祉協議会主催)協力・見守り隊研修会(中止)・見守り隊役員会2回7/16 1/17(8人)・啓発活動(1日・15日・研修)(書面25人)シニア交通教室(30人)、どんど焼き交通整理(4人)			
事業目標	・子どもの安全確保			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	児童の交通事故0	0	0	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・隊員にアンケートで危険箇所をあげてもらい、宇部警察署交通課よりアドバイスをもらい書面での回答をした。・平日の朝と午後の活動はなかなか難しい面がある。・新隊員の増加 祝達成!(4人入隊)			
事業効果	・あいさつのいきかう地域をめざして、事故もなく見守りができた。・コロナ禍でも多くの人が見守り活動に参加して下さり子供から大人まで元気をもらえた。			
今後の課題等	・毎年ながらポケットに手を入れたまま登下校。縁石で遊ぶ。等が課題。・新隊員の増加・ながら見守りを継続していく。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 ふれあい運動推進委員会、子ども
会育成連絡協議会

事業名	7	青少年の健全育成事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	195,000 円		助成金充当額	195,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	963人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・ふれあい定例会(中止)〔恩田小、常盤中の担当教諭も出席〕小中連携や地域と学校の調整を担う・中学生の下校指導8回(43人)、少年の非行防止、健全育成のための相談及び補導活動・街頭歩道(ショッピングセンター含む)9回(41人)やスタッフとして行事参加(10人)・球技大会、文化祭、レクリエーション(高学年・低学年)、クリスマス会・感謝式12/26(157人)、市子連等子ども会活動13回(延べ485人)・定例会/行事前担当者会議8回(延べ115人)・宇部市市子連会議出席14回(20人)安全研修会(35人)総会4/16(25人)地域行事7/17,11/6,11/14,1/9 4回(32人)野外活動(中止)文化祭(中止)			
事業目標	・子どもたちが安心して安全に暮らせる地域づくり(ふれあい)・次世代育成(子ども会)			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	・子ども110番の家の旗設置個所の増加 ・地域内の駐輪場自転車の鍵施錠率	・1軒/年 ・90%	・1軒 ・80%	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・子ども110番の家の設置個所1軒増が達成できたのは、会員の日頃からの努力によるもの。・自転車の鍵施錠率の目標を達成できなかったのは、学校等への呼びかけ、周知不足。(ふれあい)・コロナ禍のため行事中止が多く、思うように活動が展開できなかった。(恩子連)			
事業効果	・青少年の健全育成と非行防止及び安全確保(ふれあい)・地域の人とのふれあいが増え、愛着が芽生える(恩子連)			
今後の課題等	・子ども110番の家設置において、地区内にバランスよく設置する。・街頭補導の日時について子どもたちに会う機会が少ないので試行錯誤しているが、健全育成・犯罪抑止に貢献できていると思うので工夫して取り組む(ふれあい)・子ども会は子どもと保護者を地域と結びつける大事な団体だが、子ども会離れが進んでいる。加入率が全体の14%に低下・子ども会の良さの広報活動の強化・時代のニーズに合う子ども会の運営を検討する、役員負担の軽減など(恩子連)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会恩田支部

事業名	8	ごみ減量化事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	133,931 円		助成金充当額	43,931 円
事業対象者	衛生部長、ゴミ減量推進員、校区民		参加人数	520人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ごみ減量視察研修参加者(中止)・燃やせないごみの分別指導(中止)・地区運動会ではゴミ分別競技(中止)・冬まつり神事後にポイ捨て禁止の啓発活動実施(1/9延べ200人)・地区内空き缶拾い2回(7/3、10/2延べ72人)・理事会4回(延べ17人)・段ボールコンポスト講習会(中止)・段ボールコンポスト助成(28件)・環境美化活動助成(3件)・ボランティアチャレンジデー(200人)			
事業目標	ごみ分別・ゴミ減量の意識向上と推進、段ボールコンポストの拡充			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	段ボールコンポスト普及	30件	28件	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・コロナの為、講習会ができなかった。			
事業効果	・年2回の美化活動によりポイ捨ての減少がみられた。衛生部長だけでなく、家族(子ども連れ)で空き缶回収に参加が見られた。・3R(古着)回収は多くの住民に浸透している。			
今後の課題等	・多くの方にごみの減量化を知ってもらい、住民が気軽に参加できる活動を検討したい。・中学生が毎週水曜日に学校周辺の美化活動をしているので、空き缶拾いなどで何か一緒にできることはないか検討する。(拡大学校運営協議会が中止の為次年度に検討)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 恩田地域づくり協議会、女性部
会

事業名	9	運営事務費		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	582,130 円		助成金充当額	540,550 円
事業対象者	全校区民		参加人数	455人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・地域づくり協議会役員会年間11回(延べ275人)・地域づくり協議会三役会年間12回(延べ60人)・運動会実行委員会(中止)・夏祭り実行委員会(中止)・文化祭実行委員会9/29(10人)・冬まつり実行委員会11/11(7人)・門松づくり実行委員会11/25(7人)・企画検討委員会11/30(10人)女性部会総会4/18(26人)空港清掃7/17(4人)文化祭準備11/6(5人)冬まつり1/9(1人)自主防災訓練2/27(1人)子どもサポートへの参加(4人)自治連総会(書面)、新任自治会長研修会7/(20人)、理事会4回(延べ25人)			
事業目標	・理解を深める・お互いを知り情報交換する。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	HP閲覧数	人口の1割・1243人	761人【R2】→4800人	
(達成できた、又は、できなかった要因)・日々の活動をHPに掲載していくことで1年で4000人の閲覧者の増加。				
事業効果	・よく見られている頁などの解析をもとに魅力あるHPをめざしていく。・ウォーキングチャレンジ、小学生の作品展しずれも好評で地域づくり協議会を身近に感じてもらえるようになった。・動画の配信を引き続き行った。・制限のある行事实施において従来通りではなく、新たな取り組みが生まれた。			
今後の課題等	・感染対策をふまえての活動になるが、地域交流の場が保たれるよう検討・実施していくことが必要だと思う。(女性部会)・地域づくり協議会では人を集める事業・バザーなど来年も難しいかもしれないが、感染対策を取りながらできる事業を行う予定。また構成団体の日々の活動を知ってもらう広報活動に力を入れた結果、昨年HPリニューアルからユーザーが順調に増加した。年間平均HP閲覧ユーザー1日24人(最大85人)、7日211人(最大310人)、30日455人(最大1004人)(地域づくり協議			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 社会福祉協議会、母子保健推進
委員会、民生児童委員協議会

事業名	10	福祉活動事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	225,055 円		助成金充当額	200,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	3368人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・定例会3回(30人)・敬老品配布スタッフ(500人)・敬老事業対象者(2273人)・お楽しみ昼食会2回(中止)・ひよこランド4回(135人)・ひよこミルク7回ひよこリラックス1回(94人)・母推定例会12回(延べ120人)・赤ちゃん訪問(66回)・子育てをしている方がほっと一息できる楽しい場所・オレンジほっとサロン10回(延べ150人)体操・ゲーム・歌・クイズ・作品づくり・体力測定・出前講座・介護相談			
事業目標	高齢者、子育ての若者の居場所作り			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	行事への参加者増	R2 3216人	3368人	
	・コロナ禍で、高齢者対象の行事の開催ができなかった。・子育て中の親子の参加事業は人数制限を行い予約制で開催。昨年参加者3216人より152人増。			
事業効果	・参加者が進んで行事などお手伝いをしてくださるようになった。(オレンジほっとサロン)・敬老品の配布では、福祉委員、民生・児童委員、自治会役員が協力し高齢者とふれあうことができました。・次年度は福祉委員の役割を再認識し無理のない範囲で高齢者の見守り活動を行う。(社協)			
今後の課題等	・会場が狭いので、15人位の目安で進めたい。(オレンジほっとサロン)・事前予約制(地区内5組までに限る)(ひよこランド)・老若男女の多くの人と出会える居場所作りを考えたい・スマホ教室を地区で開催したい(社協)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③